

報週濟經際國

行發社合聯聞新



261 (No. 495) 行發日十二月七年四和昭 號七廿第 卷十第 (可認物便郵種三日九月十年九正大)

イギリス労働党内閣政綱

議會開院式に於ける勅語朗讀

ロンドン 七月二日(火)

イギリス皇帝ジョージ五世陛下には御轉地先から半年振りて一日ロンドンに還御あそばされたがなほ御健康の御回復十分に亘らせられず二日の新議會開院式に當り御名代を以て勅語を下賜あらせられた。開院式の勅語は取りも直さず新労働黨マクドナルド内閣の政策の大綱を述べられたものであつて、マクドナルド氏は多年の主張に基き軍備縮小、ライオン撤兵、炭坑國營準備、對露國交回復及び八時間労働を規定したワシントン條約の批准等を実行することが明白になつた。なほ開院式勅語は左の通りである。

「本日の新議會開院式に當り余親しく臨幸するを得ざるを遺憾とするも神の攝理により十分健康を回復し得る確信に達し得たることを欣ぶものである。且つ全英帝國人民が數ヶ月に亘る余の重患中余の健康回復のために捧げたる熱誠溢るる祈禱に對し余は深く感謝するものである。イギリスと諸外國との關係が愈親善を加へつゝあるは余の欣快とするところである。」

開院式勅語

「本日の新議會開院式に當り余親しく臨幸するを得ざるを遺憾とするも神の攝理により十分健康を回復し得る確信に達し得たることを欣ぶものである。且つ全英帝國人民が數ヶ月に亘る余の重患中余の健康回復のために捧げたる熱誠溢るる祈禱に對し余は深く感謝するものである。イギリスと諸外國との關係が愈親善を加へつゝあるは余の欣快とするところである。」

賠償問題の解決

ドイツ賠償問題の完全なる最終的解決のための提案起草のため任命せられた各國財政専門家の意見一致し、今やその専門委員會から提出された報告書につきイギ

リス本國政府は目下来るべき關係各國政府代表會議に對する準備として研究中であるが、本問題の解決はライオンランドに於ける各國駐屯軍の撤兵を可能ならしめること、信ずる。

海軍縮小問題

英本國政府とアメリカ大使ドーズ氏との間に海軍縮小の件につき交渉開始せられたが、その結果としてイギリス本國政府並に自治領及びインド及び諸外國の政府が協力し速かに全世界の軍備を縮小するに至らんことを希望するものである。

國際司法裁判所

英本國政府は係争當事國が各自の權利につき相衝突して容れざる國際係争問題を法律的解決に委ねるの時が遂に到来したものと思維す。この目的のため常設國際司法裁判所規約中の選擇條項に調印の件につき英本國政府は目下自治領及びインド政府と協議中である。

英露國交回復

英本國政府は又ソヴェート聯邦政府との外交關係回復の條件を研究しこれにつき自治領及びインド政府と協議中である。

失業問題の解決

新内閣は失業問題の適當なる解決に努め運輸機關及び輸出入の改善、農業及び漁業の振興、農産物及び海産物の市場開拓、自治領と

イギリスの失業救済計畫

ロンドン 七月三日(水)

開院式の勅語に對する下院奉答案の討論は三日も引續き續行されたが席上新内閣の國策尙書にして失業救済事業の首班たるべきトーマス氏は労働黨の失業救済計畫に關し左の如く説明を試みた。

「如何なる失業救済計畫も單に失業者に仕事を與へるといふ見地からばかりでなく、國內並に對外國の促進といふ見地からも考慮されなければならぬ。而して從來吾人が海外から輸入してゐたものも國內で生産しなければならぬ。」

例へば從來我が國の鐵道は外國から木材の枕木を輸入してゐた。然し調査の結果は鋼鐵製の枕木を使用することを妨げてゐるものは單に技術上の困難のみに過ぎないことが判明してゐるのみならず、各鐵道會社も鋼鐵製枕木を使用することがはるかに實用的であること

現行恩給法改正

一九一九年ワシントン八時間労働條約の批准並に貧民窟一掃、不良住宅の大規模なる改善にも努めるはずである。又一九二五年來の現行恩給法を改訂し、その支給條件を改正し、以て一年分の増額を行ひ、且つ一九二七年の産業争議法による弊害を矯正せんとするものである。なほまた下院選舉法を新時代の情況に適するやう改正せんがため調査を行はんとする計畫である。」

マツケナ税は如何

これに對し前保守黨内閣の蔵相チャーチル氏は起つて左の如く述べた。「余はトーマス氏のこの重大な難問題を處理せんとする勇氣には敬意を表す。然し保守黨は産業保護ならびにマツケナ税に關して勅語奉答案の修正動議を提出する豫定である。政府は果してこれらの諸税を廢止する意向を有するや否や迅速に聲明を要求する。」

本號索引

每號連載 事項省略

△日英米 六月末物價指數	二二五
關稅改正法案修正	二二五
六月中の手形交換高	二二五
同株式及債券出來高	二二五
同極東向銀塊積出高	二二五
同極東向銀塊積出高	二二五
七月一日物價指數	二二五
新棉民間豫想發表	二二五
人絹値下げ事情	二二五
六月中の生糸統計	二二五
議會開院式勅語	二二五
失業救済計畫	二二五
六月末の諸港金物在高	二二五
同物價指數	二二五
六月中の棉花引取高	二二五
ライオンランド撤兵賛成	二二五
對露外交關係復活の必要	二二五
産業争議法改正案提出聲明	二二五
紡績賃銀引下問題	二二五
波止場入夫罷業	二二五

總索引目錄進呈

本誌本年上半期分 本號附録として添附

獨逸 綿業界の近況	二二五
獨逸 獨英空素協定の內容	二二五
露國 英露外交關係復活問題	二二五
露國 浦羅六月中の大豆統計	二二五
ブルガア 國立銀行利上げ	二二五
馬來 六月中のゴム輸出入高	二二五
支那 上海對日爲替暴騰	二二五
支那 青島労働界不穩	二二五
日本 六月中の東京物價指數	二二五
日本 紡績深夜業廢止と英紙批評	二二五
世界 六月錫供給高及引渡高	二二五
世界 過去十五年棉花相場(七月初)	二二五

(每週一回土曜日發行・每號十頁)

A4 8

アメリカ關稅改正法案を 上院財政委員會で修正か

【ニューヨーク 七月二日(火)】
ワシントン來電によれば共和黨領袖連は大統領フーヴァー氏に對し左の如く確言するところがあつた。

『目下關稅改正法案を審議しつゝある上院財政委員會は右法案に系統的の修正を加ふべく該法案中の過重なる稅率も引下げを見るであらう。従つて共和黨としては先年ベーン・アルドリッチ關稅改正法通過(一九一二年)の際の如き政治的激動を懸念する必要はないと考へる。』

なほ他の筋より聞知するところによるとフーヴァー氏は上院財政委員その他に對し關稅改正に當つてはアメリカの對外貿易を阻害する結果とならざるやう深甚の注意を拂はれたく、特にカナダとの通商關係に留意されたい旨を申し送つた。

【備考】アメリカ關稅改正法案は五月廿八日下院通過、目下上院財政委員會に於て審議中であるが、來る八月十九日上院再開までには修正案の作成を見るはずである。

▲政治的經濟的に
種々の難問題絡む▲
ツシントン 七月四日(木)
アメリカ關稅改正法案は目下上院財政委員會に於て審議中であるが該案には政治的、經濟的の種々の難問題が絡んでゐるため八月十

九日上院再開までに審議完了するや否や目下頗る疑問視されるに至つてゐる。而して目下著しく一般の注意を惹いてゐる點は左の二點である。

一、下院を通過した砂糖關稅引上案は餘りに甚しいので大統領を初め一般の反對が多い。よつて上院財政委員が果して大統領の勸告せる如くスライディング・スケール(相場の高低によつて關稅を變更する案)を採用するや否や。

一、外國自動車に果して從價二割五分を課稅するや否や。
又關稅引上げに對し諸外國政府から續々抗議が來てゐることも關稅案の成行きに不安を與へ、尙民主黨側でも關稅法案を猛烈に攻撃してゐる。

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

米國經濟界

▲六月中のアメリカ
ニューヨーク 七月六日(土)
ファイナンシャル・クロニクル誌調査六月中のアメリカ手形交換高は左の通りである。

全アメリカ	五、九〇〇、〇〇〇
内 ニューヨーク	三、四〇〇、〇〇〇
過去十ヶ年比較 單位百萬ドル	
一九一九年	三、四、五
二〇〇〇年	三、四、五
二〇〇一年	三、四、五
二〇〇二年	三、四、五
二〇〇三年	三、四、五
二〇〇四年	三、四、五
二〇〇五年	三、四、五
二〇〇六年	三、四、五
二〇〇七年	三、四、五
二〇〇八年	三、四、五
二〇〇九年	三、四、五
二〇一〇年	三、四、五

株式及證券市況

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

株式及證券市況

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

株式及證券市況

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

ロンドン金融市況

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

為替及銀塊

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

▲最近十二ヶ月々計 全米
昨年七月 四、九七〇
八月 四、九七〇
九月 四、九七〇
十月 四、九七〇
十一月 四、九七〇
十二月 四、九七〇
本年一月 四、九七〇
二月 四、九七〇
三月 四、九七〇
四月 四、九七〇
五月 四、九七〇
六月 四、九七〇

ロンドン銀塊市況

ロンドン 七月四日(木)

今週の市況に關し著名の銀塊仲買商は左の如く報じてゐる。

△サミュエル・モンタギュー商會 支那筋は引續き賣つたり買つたりしてゐるが、どちらかといふと賣る方が多い。これは日本圓爲替腕りの影響によるものと思はれる。

アメリカは再び盛に賣り始め、又ヨーロッパ大陸筋の賣物も先物に比べるに大分増えて來た。一方買引合ひは尠く、それも主として空賣り買埋めに限られてゐる。なほ今週ロンドン出帆の船はボンベイの七月の受渡しに間に合ふ最後の便船であるが、然し船積目的の銀塊買付は今までのところほんの僅に過ぎなかつた。

△モーカッタ・ゴールドスミット商會 今週は再び氣配引弛みを呈した。支那は買つたり賣つたりしてゐる。アメリカは大抵午後には賣つてゐる。一方買物は主として小口の買埋めに限られてゐる。尤も四日にはインド其他よりの買物が若干現はれ相場は見直したが、然し底意は非常に強くないやうである。

意を拂つてゐる。上海は一日、二日はサンマー・ホリデーで各銀行は休業して居り爲替の實際取引は行はれてゐないが、これ等を反映した一般氣配として日本向銀行渡七十七兩見當で、休日明けの爲替及び銀塊市場は相當波瀾を示すものと觀られてゐる。

爲替市場は對日銀行賣り七十七兩四分ノ三と休日前に比し約一兩八分ノ七の暴騰を示し、又金塊も三百八十兩四匁と休日前に比し六兩七匁の暴騰、アトなほ手堅い成行きを示してゐる。然し餘り急激な變動として一般は何れかといへば見送り氣味で思惑筋以外は餘り取引は行はれてゐない模様である。

アメリカ金物市況

ニューヨーク 七月三日(水)

△鋼鐵 製鋼會社の仕事は多いといふ情報もあり尠いといふ情報もあり一定しない。又各種仕上品の生産もまちまちで増減互に相殺してゐるやうである。

△錫 相場は少い。消費需要は開散である。要は開散である。△鉛 脆り、需要は見直し主として七月物に好需がある。

△銅 消費筋の買付は開散ながら亞鉛會社は値引きしようとしな。△安質母尼 市況鈍狀、期近には些少なから値引きが行はれてゐるらしい。

△ニューヨーク金物相場 七月一日(月) (ビツツバーク渡) 鉄鋼第二號物(一ト) 三弗〇〇

△ニューヨーク金物相場 七月一日(月) (ビツツバーク渡) 鉄鋼第二號物(一ト) 三弗〇〇

金物

海峽錫(一口廿五ト) 緬育 四仙四

六月末の日・英・米物價指數

新聞聯合社調査、本年六月末の日英米物價指數は左の通りである。

日	英	米
一九二四年六月	二二七	一〇〇
一九二五年同	二二七	一〇〇
一九二六年同	二二七	一〇〇
一九二七年同	二二七	一〇〇
一九二八年同	二二七	一〇〇
一九二九年同	二二七	一〇〇
最近十二ヶ月々計	二二七	一〇〇
昨年七月	二二七	一〇〇
八月	二二七	一〇〇
九月	二二七	一〇〇
十月	二二七	一〇〇
十一月	二二七	一〇〇
十二月	二二七	一〇〇

イギリス金物市況

ロンドン 七月五日(金)

今週のロンドン金物市況は區々を呈した。△銅 アメリカ市場の形勢がはつきりしない上に電氣銅の目下の値頃が果して維持されるか否か不安視されるため買手は寧ろ警戒的態度をとつてゐる。一方賣手も現在の相場では標準銅を餘り進んで賣らうとせず、先行きは依然稍や不明である。

△錫 一日(月)發表の六月中の需要統計によつて若干好影響を受けた。又斯業の合理化を行ふべしとのプロバガンダが行はれてゐることも人氣を好くし相場は脆りを呈してゐる。消費需要はぼつぼつと活況を呈してゐる。然し前途の形勢ははつきりしない。

△鉛 人氣は若干氣迷ひを呈してゐる。これは最近鉛生産業者の會合に於て生産制限の必要なしといふに意見が一致したとの報があるためである。

△亞鉛 大して賣物もなく生産者も商人も形勢觀望の態度をとつてゐる。

△ロンドン鐵類相場 七月六日(土) 蘇格蘭 東北岸 一〇磅

六月末のイギリス諸港金物在荷高

イギリス

ロンドン 七月五日(金)

イコノミスト誌調査、六月末のイギリス物價指數は九一・七である。之を一九二五年一月以來の數字と比較すれば左の通りである。

年	一月	二月	三月	四月	五月	六月
一九二五年	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七
一九二六年	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七
一九二七年	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七
一九二八年	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七
一九二九年	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七
本年一月	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七
本年二月	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七
本年三月	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七
本年四月	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七
本年五月	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七
本年六月	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七	九一・七

アメリカ

ニューヨーク 七月二日(火)

アラッドストリート誌調査、七月一日現在のアメリカ物價指數は十二・四八五三である。之を過去十二ヶ月の同期並に最近十二ヶ月と比較すれば左の如くである。

年	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月
一九二五年	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三
一九二六年	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三
一九二七年	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三
一九二八年	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三
一九二九年	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三
本年一月	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三
本年二月	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三
本年三月	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三
本年四月	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三
本年五月	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三
本年六月	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三
本年七月	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三	十二・四八五三

(昭和四年六月三十日) 七月六日發信

場相物金

Table of gold market prices for London (倫敦) and London (倫敦) with columns for dates (七月一日 to 六日) and various gold types (現物, 先物, 買手, 賣手).

場相替爲國外

Table of international exchange rates for various locations including London (倫敦), Japan (日本), Shanghai (上海), and others, with columns for dates and exchange rates.

場相債社公

Table of public debt market prices for various companies and locations like London (倫敦) and New York (紐約), with columns for dates and interest rates.

場相式株

Table of stock market prices for various companies such as Mitsui (三井), Daiwa (大和), and others, with columns for dates and share prices.

場相塊銀金

Table of gold and silver block market prices for London (倫敦) and New York (紐約), with columns for dates and prices.

替爲濱橫

Table of exchange rates for Yokohama and other locations, with columns for dates and rates.

銅氣電育紐

Table of prices for copper, electricity, and other commodities, with columns for dates and prices.

值賣定公社會出輸銅國米

Table of prices for rice and other commodities, with columns for dates and prices.

ルーボガンシ

Table of prices for various goods, with columns for dates and prices.

昭和四年六月三十日—七月六日發價

大連特產

七月 一(日) 二(日) 三(日) 四(日) 五(日) 六(日) 日(土)

豆 粕

Table with columns for dates and prices for various soybean products.

大豆

Table with columns for dates and prices for various soybean products.

大豆油

Table with columns for dates and prices for various soybean oil products.

銀票

Table with columns for dates and prices for various silver notes.

上海小麥粉

Table with columns for dates and prices for various wheat flour products.

大阪米期

Table with columns for dates and prices for various rice products.

小麥相場

七月 一(日) 二(日) 三(日) 四(日) 五(日) 六(日) 日(土)

市俄古

Table with columns for dates and prices for various wheat products.

シヤト

Table with columns for dates and prices for various wheat products.

トヤシ

Table with columns for dates and prices for various wheat products.

ポトラド

Table with columns for dates and prices for various wheat products.

ウイニベツ

Table with columns for dates and prices for various wheat products.

ルアヴ

Table with columns for dates and prices for various wheat products.

護謨相場

七月 一(日) 二(日) 三(日) 四(日) 五(日) 六(日) 日(土)

倫敦

Table with columns for dates and prices for various rubber products.

紐育

Table with columns for dates and prices for various rubber products.

新嘉坡

Table with columns for dates and prices for various rubber products.

油相相場

Table with columns for dates and prices for various oil products.

倫敦亞麻仁

Table with columns for dates and prices for various oil products.

甲谷陀麻袋

Table with columns for dates and prices for various oil products.

砂糖相場

七月 一(日) 二(日) 三(日) 四(日) 五(日) 六(日) 日(土)

紐育

Table with columns for dates and prices for various sugar products.

倫敦

Table with columns for dates and prices for various sugar products.

スラバヤ

Table with columns for dates and prices for various sugar products.

大阪

Table with columns for dates and prices for various sugar products.

大阪綿糸

Table with columns for dates and prices for various sugar products.

大阪米

Table with columns for dates and prices for various sugar products.

生絲相場

七月 一(日) 二(日) 三(日) 四(日) 五(日) 六(日) 日(土)

紐育

Table with columns for dates and prices for various silk products.

市中相場

Table with columns for dates and prices for various silk products.

横濱

Table with columns for dates and prices for various silk products.

大阪

Table with columns for dates and prices for various silk products.

大阪綿糸

Table with columns for dates and prices for various silk products.

大阪米

Table with columns for dates and prices for various silk products.

棉花相場

七月 一(日) 二(日) 三(日) 四(日) 五(日) 六(日) 日(土)

紐育

Table with columns for dates and prices for various cotton products.

ルアヴ

Table with columns for dates and prices for various cotton products.

山歴亞

Table with columns for dates and prices for various cotton products.

買孟

Table with columns for dates and prices for various cotton products.

大阪

Table with columns for dates and prices for various cotton products.

大阪米

Table with columns for dates and prices for various cotton products.

棉花 綿糸布



アメリカ棉花市況

今週は獨立祭(四日)を中に挿入... 政府の反別豫想に就ての不安から取引は少なかつた。

ニューヨーク 七月六日(土)
ビオシツク 一〇五五
ビュロー 一〇五五

民間の豫想を綜合するに七月八日發表の政府の新棉反別豫想は四千八百六十六万七千エーカー見當であらう。

ニューヨーク綿糸相場

七月二日(月)
二〇手単糸 一封度 三三セント

イギリス棉花市況

現物は閑散、定期はボンベイ及...

紡績棉花引取高

六月中のイギリス紡績棉花引取高は左の如くである。(單位千袋)

Table with columns for cotton types (e.g., アメリカ棉, インド棉) and their respective quantities for the current and previous periods.

イギリス 綿糸布市況

綿糸布市況

市況は綿布、綿糸共落付きを缺いてゐる。引合ひは稍や増加した...

Table showing cotton cloth market status with columns for months (e.g., 六月, 七月) and various cotton types with their prices.

過去十五ヶ年七月初め棉花綿糸相場表

Table showing historical cotton market prices from 1900 to 1915, including columns for years and prices for different cotton types.

英露外交關係復活問題

ライオンランド撤兵決行に努力

五日のイギリス下院は主として新内閣の外交政策に關する問題が議題となり、新外相アサー・ヘンダーソン氏が活躍したが、舊聯...

アメリカ新棉

民間豫想及作柄

七月一日(月) 作柄 (植付反別)
日本棉花會社 七割七
サザン棉花會社 六割四

ライオンランドより可及的迅速に撤兵することはドイツに對する公正の立場よりして缺くべからざる事柄である。

英露關係回復問題 であるが、この點に關し政府が既に着手した事柄は單に各自治領政府と交渉を開始したこのみである。

府のさらんとする方法はある程度まで自治領政府の回答如何に關するものである。

且つ予はその誓約の實行さるべきことを信するものである。予は英露關係の復活に關しては法律顧問と協議した結果茲に次のことを聲明するの必要を認めるに至つた。

二日のイギリス議會は開院式に引き続き下院は午後早速最初の本會議を開會、討議を開始したが席上保健大臣グリーンウッド氏は直ちに寡婦、孤兒年金法改正案を議會に提出すべきことを聲明して喝采を博し、次いで検事長サー・ウィリアム・ジョーウィット氏は労働黨議員の嵐の如き拍手裡に起つて産業爭議法改正案を提出すべきことを聲明した。

産業爭議法改正案提出聲明

改正案提出聲明

二日のイギリス議會は開院式に引き続き下院は午後早速最初の本會議を開會、討議を開始したが席上保健大臣グリーンウッド氏は直ちに寡婦、孤兒年金法改正案を議會に提出すべきことを聲明して喝采を博し、次いで検事長サー・ウィリアム・ジョーウィット氏は労働黨議員の嵐の如き拍手裡に起つて産業爭議法改正案を提出すべきことを聲明した。

ランカンシア紡績 賃銀引下問題

勞資の會見決裂す

マンチエスター 七月二日(火)

イギリス紡績聯合會賃銀委員並に紡績同業會代表者は本日紡績職工組合及び梳棉職工組合代表者と會見し傭主側提案に係る賃銀一割二分八厘二毛引下げに關し討議するところがあつた。右會見終了後發表されたところによると職工側は一致して傭主側の要求を拒絶した。

▲備考 (政府調停如何)

賃銀引下げは来る八月三日より強制實施する旨六月廿一日傭主側より職工側へ通告した。八月三日まではなほ一ヶ月あるが勞資双方の間だけでは到底問題の解決は困難と觀られる。政府でも右には注意を拂つて居り、若しロツクアウト等が行はれさうな形勢となれば勞働省が居中調停の勞をこころべしと豫期されてゐる。

なほ政府の調停策は一九一九年の産業裁判法に基き獨立の裁判委員を設けて賃銀引下案の當否を審査せしめることとならう。なほ右委員會は勞働黨政府が豫てその政策の一として設立を明言してゐた綿業調査委員會とは全然別個のもので設けられるであらう。

インド棉花市況

新棉は發育良好

ボンベイ 七月六日(土)

今週の相場は下落歩調を示したこれはヨーロッパからも極東からも新規の輸出需要が皆無なため

ある。需要はほんのぼつくと、殊にボンベイ紡績は殆ど買氣を示さない。棉産地各方面からの入報によれば各地共殆ど新棉の發育は良好である。

青島労働界不穩 紡績同業界の對策

青島 七月四日(木)

青島紡績同業會では過般藤田總領事を通じて支那官憲へ職工中の不良分子取締りの要求をなし、若し徹底せざる場合は自衛手段として工場内にひそむ不良分子を一掃し、これによつて職工側が不穩の舉に出づる場合は各工場共一齊にロツク・アウトをなして對抗すべきことを仄めかした。

これに對し支那公安局は嚴重取締るべき旨を聲明し不逞職工の策動を取締るべき意味を布告した。しかしその結果は却つて一笑に附せられ何等の効果もない、それのみか、善良職工に對する壓迫が甚しく續々郷里へ逃げ歸る有様となり殘留職工の殆ど全部は極度に悪化し怠業氣分横溢するに至つた。

日清紡績の如きは門前に野犬の首をさらして「打倒日本の走狗」と貼出し善良職工等を脅かしてゐる。かくの如き悪化傾向はひとり紡績工場のみでなく、各工場共同である。そこで各工場は共同動作に出づべく本日我が商工會議所て工業部の緊急會議を開いたが、右につき一工場主は左の如く語つた。

『支那官憲が誠意を以て取締らぬとせば愈最後の手段を執行するのみで茲五、六日内には大なる變化を見るであらう。現在では彼等職工は何等の要求もなさず勝手放題な振舞ひをしてゐるので、日本人の監督等はしびれを切らし日本内地へ歸りたいといふ者も出てゐる位である。』

日本紡績労働條件

ロンドン 七月二日(火)

日本の紡績深夜業が七月一日より廢止された事に就てロンドンのファイナンシャル・タイムズ紙は社説に於て左の如く述べてゐる。

『日本紡績工場に於ける婦女子の深夜業及び賃銀安は愈々跡を絶つたが、然し日本紡績がこれによりて打撃を受けるやうなことはない。』

ドイツ綿業界の近況

輸出市場は主としてヨーロッパ諸國

七月一日からドイツの紡績は四割の操業短縮を行ふといふ事である。ドイツは世界有数の綿業國であるが、同國の綿業事情に就ては我が國の綿業界に於ても餘りよく判つてゐないやうであるから、此の機會に少しく解説を試みよう。

棉花輸入高

ドイツは多量の棉花をアメリカから輸入する。米棉だけで見ればイギリスを凌駕する事が屢々ある。今年も亦イギリスより多い。次に

ボンベイ綿糸相場

七月六日(土)

晒金巾一五〇〇番ライプマン 八留比大登
生金巾二〇〇〇番ライプマン 九留比大登
粗布三〇〇ヤード部C 七留比大登
二〇〇手綿糸 三アンナ分
一〇〇手綿糸 九アンナ分

上海綿糸相場

△華商紗布交易所大引
(支那右有十六番手一欄建)

七月一日月 七月限 十二月限
二日(火) 一五兩九分 一五兩九分
三日(水) 一五兩九分 一五兩九分
四日(木) 一五兩九分 一五兩九分
五日(金) 一五兩九分 一五兩九分
六日(土) 一五兩九分 一五兩九分

紡績据付錘數

輸入棉花の内約二割弱は中歐、北歐等に再輸出される。一方ドイツ紡績の消費高は左の通りで昨年は世界第七位であつた。

〔萬國紡績聯合會調査、昨年二月一日より本年一月末まで消費高〕

アメリカ 七、〇〇八千俵
イギリス 二、九六一
日本 二、六六三
インド 二、二二七
支那 一、九三七
ドイツ 一、七二三
原棉消費高は右の如くであるが据付錘數から云ふとドイツは本年一月末現在約一千一百万錘を擁しつと我が國の倍で、英米に次いで世界第三番に位する。

綿布輸出先

然らばその製品が海外に進出して日本品と衝突するかと云ふに事實は案外さうでない。インドや支那等では未だインド綿製品の競争とか壓迫とかいふやうな聲を聞かない。これは左の理由に基くものと思はれる。

一、ドイツ品の主なる消費市場はドイツ國內である事。
二、輸出市場が概ねヨーロッパにある事。
第二の場合を數字で示す左の通りで、第一の輸出先はイギリスである。

ドイツ綿布國別輸出高

△ドイツ綿布國別輸出高 (單位千メートル・トン)

綿業の近況

ドイツ綿業界の形勢を見るに、最近概して不況に悩まされてゐる。即ち五月下旬ドイツの紡績聯合會はフランクフルト・アム・マインに總會を開き七月一日から加盟紡績の操業を四割方短縮する件を決議した。尤も右は米棉紡績だけ、エデプト紡績の方はまだ何とも決定してゐない。然しエデプト紡績の方でも先頃から景氣が思はしくなく、各社思ひ／＼に限産をやつてゐるやうである。

加工業方面も一般に振はない。メリヤス、靴下類の製造業は目下頗る閑散な状態にある。下等乃至中等肌着類の製造は一時、時間外の仕事を忙しかつたが、これは五月下旬のホット・サン休日迄に引渡す注文を仕上げる爲めこれ以後注文はあまりに多くないらしい。又肌着類の上等品はさつぱり賣れない。手袋類の製造業者は全能力の半分しか運轉しない程閑散である。

(昭和四年六月三十日—七月六日發信)

アメリカ人造絹糸値下げ事情 ヨーロッパよりの輸入人絹に對抗の爲め

アメリカの二大人絹會社たるデュポン會社(Dupont)とヴィスコス會社(Viscose)は六月十八日相次いで値下を發表した。一五〇デニールの標準品が一ポンドに付一ドル三十セントから一ドル十五セントになつたのである。これは本年になつて第二回の値下げである。理由は輸入人絹に對抗する爲めである。右の如く下げても未だ日本よりは十分高いのである。

人絹輸入高

アメリカの人絹輸入高(糸の儘のもの)は左表の如く過去二ケ年間に著しく増加した。昨年は一昨年よりも尠なかつたがそれでも以前に比較すると左の通り非常に多くなつてゐる。

一九二〇年	一、八四六、八七五ポンド
一九二一年	七、〇〇〇、五二一
一九二二年	一〇、〇二二、三九六
一九二三年	一六、二二一、一六六
一九二四年	二二、七四六、七六八

又本年第一期の数字を比較して見ると本年度は昨年度より大分多くなつてゐる。

何所から輸入する

所て何所から輸入するかと云ふに、主としてイタリー、ドイツ、フランス、オランダ、スイスの五ヶ國である。就中イタリーが一番多かつた。然し本年二月以降はドイツがイタリーを凌いで第一位となつてゐる。即ち左の通りである(單位千ポンド)

年	イタリー	ドイツ	フランス	オランダ	スイス
一九二〇年	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
一九二一年	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
一九二二年	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
一九二三年	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
一九二四年	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇

他の諸國からの輸入は問題にならぬ程尠い。

輸入人絹相場

次に輸入増に伴つて輸入人絹の相場は左の如く低落してゐる。この数字は輸入された人絹糸の総インボイス価格を總數量で割つたもので、特定のデニールの値段ではないが大體の傾向は判る。

年	三ドル四四セント	一・一七	〇・八八	〇・八四	〇・八五	〇・七七
一九二〇年	三ドル四四セント	一・一七	〇・八八	〇・八四	〇・八五	〇・七七
一九二一年	三ドル四四セント	一・一七	〇・八八	〇・八四	〇・八五	〇・七七
一九二二年	三ドル四四セント	一・一七	〇・八八	〇・八四	〇・八五	〇・七七
一九二三年	三ドル四四セント	一・一七	〇・八八	〇・八四	〇・八五	〇・七七
一九二四年	三ドル四四セント	一・一七	〇・八八	〇・八四	〇・八五	〇・七七

米國人絹の立場

一方アメリカ内地では人絹がどれ程生産され、又どれ程消費されるか。

年	生産高	消費高
一九二〇年	九、〇〇〇	一〇、八四七
一九二一年	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
一九二二年	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
一九二三年	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
一九二四年	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇

二九年)はアメリカの人絹會社が一億三千五百萬ポンドの生産を目標としてゐる。昨年に比べると三千六百萬ポンドの増産である。この際安値の輸入品が續々入つて来る事は可なり脅威である。何とかこれに對抗出来るやうに値段を調節しなければならぬ譯である。

値下げ協調

賣り値を變更するとなると兎角同業者間の足並が亂れるものであるがアメリカではこの弊が尠い。これは同業者の協調がよくされてゐるの故、少數の會社が業界に壓倒的の勢力を占めてゐるからである。前者の好適例としては人絹協會(Rayon Institute)なるものがある。これは有力人絹會社五社が共同して設立したもので、同業者の協調を圖ると共に斯業全體の利益の爲に廣告宣傳に頗る努力してゐる。後者に就て云へばアメリカ人絹總生産高の七割強はヴィスコス社とデュポン社の二社で占めてゐる。事實上この二社が人絹界を左右してゐる状態である。これが賣り値を變更するその他の會社も追隨せざるを得なくなる。去る二月この二社が値下げした時には他の大部分の會社も相次いで値下げした。上等品生産を標榜してゐる

アメリカ生糸市況

ニュージーランド 七月三日(水)

△生糸 今週取引は減退し商談は主として直渡しの小口物に限られてゐた。二十一中、殊に黄糸は品薄を告げてゐる。

今週ニュージーランドで衣服仕立工三千人のストライキがあつたが、これは非常に懸念されてゐる。その成行き如何によつては一萬二千軒の衣服製造業者が影響を蒙ることとなる。柞蠶糸の需要はよくなかつた。相場も頗る脆りである。

△絹製品 引續き暑氣が激しいので賣行きよく殊にデバメント・ストーアは一段と大量に買付けてゐる。一方截断業者は見送りの態度である。

△レーヨン 閑散である。

生糸集散統計

ニュージーランド 七月三日(水)

アメリカ絹業協會發表、六月中の生糸統計は左の如くである。(單位俵)

年	歐洲系	日本系	其他	合計
一九二〇年	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇
一九二一年	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	六、〇〇〇
一九二二年	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	九、〇〇〇
一九二三年	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	十二、〇〇〇
一九二四年	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	十五、〇〇〇

リオン生糸相場

(ニヤログラムに付)

年	支那機械糸(A太陽)	支那機械糸(B太陽)	支那機械糸(C太陽)	支那機械糸(D太陽)
一九二〇年	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
一九二一年	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
一九二二年	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
一九二三年	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
一九二四年	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇

ロンドン生糸相場

△トリア業種(ロンドン)

日	積買手	積賣手
七月一日(月)	七八月積買手	一六磅四分三
七月二日(火)	同	一六磅四分三
七月三日(水)	同	一六磅四分三
七月四日(木)	同	一六磅四分三
七月五日(金)	同	一六磅四分三
七月六日(土)	同	一六磅四分三

油脂及油種市況

ロンドン 七月六日(土)

△亞麻仁 初め主として産地の天候不良に市況は活氣を示したが週末は相場も稍や引込み、市況も亦稍や閑散になつてゐる。

△亞麻仁油 初め消費家の需要多く、又若干思買ひもあつたが週末には躊躇氣味である。

△滿洲大豆 需要良く相場は漸次昂騰した。

△大豆油 大陸筋の商内が相當にある。

△菜種 氣配脆り乍ら取引閑散である。

△ロンドン大豆油相場 (東洋品バルク積、百十二封度に付)

日	積買手	積賣手
七月一日(月)	七八月積買手	二七志四分三
七月二日(火)	同	二七志四分三
七月三日(水)	同	二七志四分三
七月四日(木)	同	二七志四分三
七月五日(金)	同	二七志四分三
七月六日(土)	同	二七志四分三

イギリス

△大豆油 大陸筋の商内が相當にある。

△菜種 氣配脆り乍ら取引閑散である。

△ロンドン大豆油相場 (東洋品バルク積、百十二封度に付)

日	積買手	積賣手
七月一日(月)	七八月積買手	二七志四分三
七月二日(火)	同	二七志四分三
七月三日(水)	同	二七志四分三
七月四日(木)	同	二七志四分三
七月五日(金)	同	二七志四分三
七月六日(土)	同	二七志四分三

六月中のアメリカ

ニュージーランド 七月三日(水)

アメリカ絹業協會發表、六月中の生糸統計は左の如くである。(單位俵)

年	歐洲系	日本系	其他	合計
一九二〇年	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇
一九二一年	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	六、〇〇〇
一九二二年	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	九、〇〇〇
一九二三年	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	十二、〇〇〇
一九二四年	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	十五、〇〇〇

リオン生糸相場

(ニヤログラムに付)

年	支那機械糸(A太陽)	支那機械糸(B太陽)	支那機械糸(C太陽)	支那機械糸(D太陽)
一九二〇年	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
一九二一年	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
一九二二年	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
一九二三年	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
一九二四年	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇

ロンドン生糸相場

△トリア業種(ロンドン)

日	積買手	積賣手
七月一日(月)	七八月積買手	一六磅四分三
七月二日(火)	同	一六磅四分三
七月三日(水)	同	一六磅四分三
七月四日(木)	同	一六磅四分三
七月五日(金)	同	一六磅四分三
七月六日(土)	同	一六磅四分三

イギリス

△大豆油 大陸筋の商内が相當にある。

△菜種 氣配脆り乍ら取引閑散である。

△ロンドン大豆油相場 (東洋品バルク積、百十二封度に付)

日	積買手	積賣手
七月一日(月)	七八月積買手	二七志四分三
七月二日(火)	同	二七志四分三
七月三日(水)	同	二七志四分三
七月四日(木)	同	二七志四分三
七月五日(金)	同	二七志四分三
七月六日(土)	同	二七志四分三

ニユーヨーク 植物油相場

Table of vegetable oil prices in New York, listing items like soybean oil, cottonseed oil, and rapeseed oil with their respective prices.

大連三品出来高

Table showing the output of three main products (soybeans, soybean oil, and soybean meal) from Dalian.

哈爾濱豆粕相場

Table of prices for soybean meal in Harbin, including various grades and their market status.

大豆及豆粕統計

Statistical report on soybean and soybean meal production and trade, covering the period from July 1st to July 5th.

週統計

英蘭銀行週報

Weekly report from the Bank of England, detailing financial data such as gold reserves, government securities, and currency exchange rates.

ドイツ及びイギリス 空素協定の内容

Article discussing the content of the airless agreement between Germany and Great Britain, focusing on economic and industrial aspects.

正貨積出高

イングリランド銀行 金移動週報

Weekly report from the Bank of England regarding gold movements, including inflows and outflows.

インド政府 通貨週報

Weekly report from the Government of India on currency matters, covering exchange rates and financial trends.

上海銀塊在荷高

アメリカ棉花統計

Statistical report on cotton production and trade in America, including data on exports and imports.

エチオピア棉花統計

Statistical report on cotton production and trade in Ethiopia, detailing harvest and market conditions.

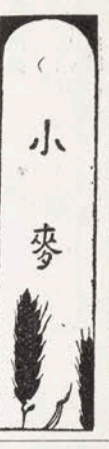
キユーバ砂糖統計

コム集散統計

Statistical report on sugar production and trade in Cuba, including data on various grades of sugar.

イギリス コム集散統計

Statistical report on the distribution and trade of wheat in Great Britain, covering production and consumption.



小麥

シカゴ小麥市況

今週相場が奔騰したのは次の原因による。即ちアメリカ及びカナダ春小麥は至急一齊に降雨がなければ大被害を蒙るといふ強氣の入報があつた爲めである。而して民間の豫想による本年のアメリカ春小麥産額は平均産額の半額なるべしと。又カナダの産額も昨年の總産額の僅か半額を生産し得るに過ぎまいと見られてゐる。且つ近く雨が降らなければ更に甚しい被害を來たすであらうとの事である。しかしながら一部方面から次の如き警戒的情報も來てゐる。即ち作柄通信員は作柄の悪い地方の事に通信を集中する傾向がある。

ラングーン米相場

△ラングーン米(50品一擔建) 七月二日(火)
 同 七月二日(火) 九ルーピー六アンナ
 同 八月二日(火) 九ルーピー二アンナ
 △對日爲替(電信銀行賣百圓に付)
 六月廿九日(土) 二三三ルーピー零三

砂糖

△粗糖 海外市場の賑りはニューヨーク(七月五日(金))を呈した。又キューバの單一輸出會社が比較的近い將來に活動を始めるであらうといふ情報があつたこと並に本年糖の内より更に五十萬トンにアメリカ以外に賣ることにならうとの風説があつたことも買氣を唆つた主なる原因であつた。尤も後に至つて右の五十萬トン云々の説は否定された。而して目下市場の人氣は寧ろ神經過敏の状態にある。これはキューバに於ける減産及び輸出會社の成行き及びワシントンに於けるアメリカ砂糖關稅改正の成行きがまだはつきりせぬためである。

アメリカ砂糖市況

△定期 白糖は粗糖に連れて高い粗糖は(イ)アメリカ高、(ロ)キューバ及びヨーロッパの減産計畫に對する素人筋の思惑買ひが多いこと、(ハ)精製糖に對する實需良好、等の好材料を入れて賑りである。

イギリス小麥市況

今週の市取引出來高はキューバ糖十六萬袋、ポルトリコ糖十二萬五千袋、ヒリツピン糖二萬五千袋、合計三十一萬袋であつた。なりほヨーロッパはキューバ糖二萬五千トン乃至三萬トンを買付けたと報ぜられる。

上海穀相場

(現物、一擔建)
 七月一日(月) 二兩五匁
 二日(火) 二兩五匁

イギリス砂糖市況

今週の砂糖市況は賑りて且つ相場も高い。これはキューバが來期は生産制限を行ふべしとの噂が引き続きあるためである。

ジャワ製糖作業中工場數

目下作業中の製糖工場數は合計百七十五工場である。

イギリス・ゴム市況

ロンドン・ゴム市況は初め閑散であつたが、その後稍や活潑となり、相場も小縮りを呈した。人氣回復の主因は六月中のマレー・ゴム積出高が豫期されたところより尠なかつたため、この結果若干空賣りの買理めが出た。殊にアメリカ筋の買理めが目立つた。一方ヨーロッパ大陸及びイギリス内地筋も買付けた。

ジャワ砂糖トラスト

六月までのトラスト本年糖賣約高は左の通りである。(一トンは100キログラム)
 白 雙 七六、000
 中 雙 六六、000
 黄 雙 五五、000
 計 一、一〇、000

シンガポール

△賣出 高 六七、〇〇〇
 △賣上 高 六五、〇〇〇
 △競賣相場(最高値、一封度に付)

ゴム競賣成績

シンガポール 七月三日(木) 前週
 同 六六、〇〇〇
 同 六六、〇〇〇
 同 六六、〇〇〇
 同 六六、〇〇〇

マレー六月中のゴム輸出入額

項目	本年累計	昨年同期
輸出總額	四〇、〇〇〇	四三、〇〇〇
輸入總額	二六、〇〇〇	二八、〇〇〇
輸出超過額	一四、〇〇〇	一五、〇〇〇

イギリス海運市況

市況は稍や閑散となつた。最近の市場に於ては往航は賑りながら復航は閑散である。

波止場人夫罷業

労働組合間の競争から三日俄然ロンドン、リヴァプール、ベルファスト、サンブロン等にて波止場労働者の罷業始まり船舶の荷役が不能に陥つた。ロンドンで今までのところ影響を受けてゐるのは二隻である。罷業の原因はロンドン船舶中の汽船ウツドラック號の多數の乗組員が海員及火夫組合(Crewmen's and Firemen's Union)を脱退し運輸及一般労働者組合(Transport and General Worker's Union)に乘換へた。これに對し船主側は雇傭契約履行を許可せず他より補充することとした。それは船主側と海員及火夫組合との間に「各乗組員は海員及火夫組合の海員たるべし」との協定があるためである。然しこの措置を不満としてウツドラック號の残りの乗組員が罷業を開始した。一方運輸労働者側でもこれを支持することとなり、その結果ウツドラック號は出帆不能に陥つた。この争議は直ちにロンドン・エント・エチンバラ汽船會社客船ロイヤル・フシリアー號(二、一八七トン)にも波及し、同船も乗組員罷業の結果出帆不能に陥つた。

本誌定價一部金一圓(半々年)廿六週分(郵稅共金貳拾圓) 發行所 大阪市東區北濱五丁目十二番地 新聞聯合社大阪支社 電話本局二〇〇番三八四〇番 振替貯金口座大阪六八〇〇〇番 編輯發行兼印刷人 東川嘉一



国際経済週報總索引目錄

昭和四年上半期分
自第十卷第一號
至第十卷第二六號

凡例

一、本索引目錄は國際經濟週報第十卷第一號より第二十六號迄(昭和四年一月一日—六月廿九日發信)の總括目次である。

二、内容は次の順序に大別す。

(イ) 政治 (ロ) 經濟 (ハ) 市況 (ニ) 統計 (ホ) 相場

一、索引文句と週報當該記事の標題又は小見出文句とは必ずしも一致せず。

一、頁數は半ヶ年の通し頁數である。

政治

- ▲アメリカ
 - ▼農村救済法案 二頁
 - 特別會議に上程聲明 一頁
 - 小麥市場と救済法案 一頁
 - 上下兩院に上程 一五
 - 下院案下院通過 一六
 - 上院案と輸出證券案 一六、一七、一八
 - 上院案上院通過 一八
 - 兩院協議會修正 二二
 - 修正案下院通過 二二
 - 修正案上院通過 二二
 - 大統領職可 二二
 - 農務局資金支出案通過 二四
 - ▼關稅改正法案 二二、二八
 - 陶器關稅引上運動 二八、二九
 - 油脂關稅引上要求 二八、二九
 - 鐵鋼業關稅引上運動 二八、二九
 - 砂糖輸入稅問題 二八、二九、三〇、三二
- ▲イギリス
 - 内外債務總額 三
 - 地方統治法案通過 三
 - 減稅は不可能 三
 - バルフォア委員會最終報告 一〇
 - 英露外交關係復活要望 一〇
 - 絹物關稅實施成績 一〇
 - 歲出入豫算案 一〇
 - 保守黨の保護政策強調 一〇
 - 總選舉の結果 一〇
 - 労働黨内閣成立と其抱負 一〇
 - 八時間労働條約批准か 一〇
 - 炭坑夫聯合會活動開始 一〇
- ▲ドイツ
 - 賠償金取立報告 一〇
 - 賠償專門委員額觸 一〇
 - 賠償管理機關設置案 一〇
 - 二九—三〇年豫算案 一〇
 - 財政會議に提出 一〇
 - 賠償會議終了 一〇
- ▲ロシア
 - 利權の讓渡 一〇
 - 豫算案說明 一〇

其他歐洲

- 英露外交關係復活要望 一〇
- エラブトで陰謀 一〇
- 對外經濟政策 一〇
- オーストリー對米債務支拂 一〇
- ルーマニアの通貨安定 一〇
- ギリシヤ對米戰債整理案 一〇
- チェッコ金本位復歸 一〇
- オランダ甜菜糖業補助 一〇
- 諸國の夏季時刻實施 一〇
- フランス豫算案 一〇
- スペイン金本位復歸決定 一〇
- ガネー主權決議 一〇
- 外國綿布排斥實行策 一〇
- 沿岸貿易對反對禁止法案 一〇
- 新豫算案 一〇
- 労働會議法施行 一〇

經濟

- ▲其他諸國
 - 八時間労働條約改訂案 二二、二三
 - 瀋洲の米國關稅改正反對 二二
- ▲國際會議
 - 國際聯盟の糖業不振調査 二九、三〇
 - 賠償國際決議銀行案 二九、三〇、三一
 - 八時間労働條約改訂案 二二、二三
 - 通貨偽造防止會議 二四、二五
 - 海上人命安全會議 二九、三〇、三一
 - 賠償會議分科委員會設置 二九
 - 同會議ドイツ國立銀行審議 二九
 - 船舶氣象報告交換決議 二九
 - 太平洋會議農業部會 二九
 - 米穀問題を討議 二九
 - 國際労働會議の勞務法規適用方決議 二九
 - 同上纖維工業労働調査 二九

アメリカ

- ▲一般
 - 產業界大觀 一
 - 國富の驚異的增加 一
 - フーズ委員會報告 一
 - 商工業は空前の活況 一
 - 鐵道評價法事件判決 一
 - 石油トラスト背法判決 一
- ▲對外事項
 - 公共事業會社の英米提携 一
 - 米獨自動車會社提携 一
 - 日本の木材關稅に反對 一
 - 海外投資會社計畫 一
 - 支那航空事業援助 一
 - 實業團をロシアへ派遣 一
 - セネラル電機會社(シヤ政府と提携) 一
 - フォードのロシア進出 一
- ▲會社及銀行の合同
 - ラヂオ・コロレシジョン 三
 - グワイクスター蓄音器會社 三
 - 石油輸出組合設立 三
 - 自動車株式投資トラスト 三
 - 東北鐵道の統一 三
 - 織物問屋の合同 三
 - 鐵道運送店合併承認 三
 - 佛獨ボタリー・トラス禁止 三
 - ラヂオ・コロレシジョン 三
 - 國際電話電信會社合併 三
 - 航空會社の提携 三
 - ゼネラル・モーターズ 三
 - 航空機株式買収案 三
 - 三大電力會社の合併 三
 - 食料品會社の合同 三
 - 飛行機會社の合同 三
 - 取引所建物共同計畫 三
 - 銀行
 - ギヤランチャー・トラス 三
 - ハノーヴァー・ナショナル 三
 - バンク・オブ・アメリカ 三
 - ケミカル・ナショナル 三
 - ナショナル・シチー 三
 - チエーズ・ナショナル 三
 - シガゴ信託會社 三
 - ニューヨーク・エクス 三
 - イタリヤ信託會社 三
 - 銀行の合同續く 三
 - 銀行の合同風潮 三

- ▲會社
 - 公共事業持株會社設立 三
 - アメリカ・オランダ 三
 - ゴム信託會社計畫 三
 - 石油輸出組合設立 三
 - 石油證券保有會社設立 三
 - 自動車株式投資トラスト組織 三
 - 持株會社の流行 三
 - 飛行機月賦販賣會社設立 三
 - 株屋銀行新設 三
 - 航空持株會社組織 三
 - 海外投資會社三社計畫 三
 - 化學工業會社設立 三
 - 大投資信託會社計畫 三
 - 皮革取引所開場 三
 - 英米錫會社設立 三
 - 増資及業績 三
 - マズレム製鋼會社配當 三
 - アナコンダ銅山會社増資 三
- ▲株式
 - 株式會社高價 三
 - 取引所會社員計畫 三
 - 未曾有の盛況の内容 三
 - 仲買人貸付警告 三
 - 投機熱抑制策 三
 - 外國資金のコール市場放出 三
- ▲金物
 - 西部銅山會社銀引上 三
 - 銅定期取引開始 三
 - 電氣銅錫事情 三
 - 銅輸出會社賣値引下 三
 - 鋼鐵界の好調 三
 - 英米錫會社設立 三
 - 銅相場の原價的考察 三
- ▲棉花
 - ワイヴル生存率調査報告 三
 - ナショナル取引所開場 三
 - 米棉標準會社 三
 - 棉花害虫驅除費減額 三
- ▲金融
 - 準備局投機警告 三
 - 準備局の資金統制擴充策 三
 - 高金利と事業界影響 三
 - 準備局の投機貸付抑制策 三
 - 同上に對する非難 三
 - コール市場の外國資金 三
 - 聯邦準備局諮問委員會勸告 三
- ▲其他
 - 新棉植付狀況調査報告 三
 - 實買手數料増額 三
 - 棉花の害虫及天候被害割合 三
 - 絹業生産を力説 三
 - 絹物輸入稅引上要求 三
 - 人絹値下げ 三
 - カリフォルニア州で養蠶 三
 - 絹糸關稅引上案 三
 - 絹業協會の生糸格付採用 三
 - 砂糖
 - ニューヨーク・コービー 三
 - 砂糖取引所證券市場計畫 三
 - 關稅改正問題 三
 - 小麥
 - 冬小麥作柄に就て 三
 - ボートランド定期市場 三
 - 農務省の世界小麥豫想 三
 - コム
 - コム信託會社計畫 三
 - エガソン翁代用品發見 三
 - ブルの策動に注意喚起 三
 - コム協會コム研究會合 三
 - 併しコム製造業者組合組織 三
 - 人造コム出現か 三
 - 船舶
 - 船舶院所屬船拂下 三
 - 十一隻入札 三
 - 十三隻拂下げ 三
 - 二百五十隻拂下に許可 三
 - 四十六隻拂下げ發表 三
 - タンク船全部拂下げ 三
 - 其他
 - ワッド・ライン新船註文 三
 - 海運保護力説 三
 - ギーパイルド號坐礁 三
 - ダラー社巨船建造計畫 三
 - ダラー社巨船建造計畫 三
 - マニラ向新郵船契約 三
 - 其他
 - 自動車製産豫想 三
 - 自動車展覽會開催 三
 - 地下鐵乘車賃値上不能 三
 - 石油生産調節問題 三
 - 自動車製産増加 三
 - 夏季時刻實施 三
 - 皮革取引所開場決定 三

經濟

(前頁より續く)

カナダ

小麥ブールの賣値案制 一八九頁
東部諸港小麥増荷増加 一八九頁
五月末の小麥作柄 二九三頁

キューバ

砂糖共同販賣案否決 一八九頁
三百五十萬トン砂糖ブール 一八九頁
砂糖輸出制限復活説 一八九頁
汽船航路競争 一八九頁
甘蔗畑の火事 一八九頁
政府の糖價吊上策 一八九頁
九十萬トン砂糖ブール組織 一八九頁
砂糖共同販賣シンジケート 一八九頁

南米

ブラジルのコーヒー被害 一八九頁
南米諸國の外債計畫 一八九頁
ブラジルのコーヒー増收豫想 一八九頁
アルゼンチンの金賣却 一八九頁

全ヨーロッパ

歐米經濟界の交渉 一八九頁
亞鉛カルテル産限説 一八九頁
亞鉛限産協定率緩和 一八九頁
製鋼カルテル生産増加 一八九頁
夏季時刻の實施 一八九頁
化學工業の提携 一八九頁
リヒト氏砂糖消費統計發表延期 一八九頁
五月甜菜種付反別豫想不變 一八九頁

イギリス

一般
イコノミスト物價指數改正 一八九頁
失業者増加 一八九頁
イングリッシュ銀行利上 一八九頁
同上と金流出防止 一八九頁
産業平和策 一八九頁
産業市開催 一八九頁
失業炭坑夫示威運動 一八九頁
失業炭坑夫救済陳情 一八九頁
バルフォア委員最終報告 一八九頁
イングリッシュ銀行純益 一八九頁

電信會社の大合同

組合銀行の貸付増加 一八九頁
産業合理化と勞資協調 一八九頁
産業保護政策力説 一八九頁

對外事項

金流出阻止方法協議の
ため英蘭銀行總裁渡米 一八九頁
對支貿易回復の好機 一八九頁
訪露實業團 一八九頁
對支貿易の回復 一八九頁
南米市場開拓計畫 一八九頁

産業回復

産業界大觀 一八九頁
産業組織直しを期待 一八九頁
更生の機械工業 一八九頁
産業平和策 一八九頁
重工業の回復 一八九頁
炭業界活氣付く 一八九頁
産業界好轉 一八九頁

金物

鋼力工場休業 一八九頁
鐵鋼業の回復 一八九頁
軍器製造會社減資 一八九頁
鐵鋼業調査陳情 一八九頁
英米錫會社設立 一八九頁

紡績業

掃除及注油協定廢棄 一八九頁
合同米棉紡績會社 一八九頁
合同と銀行援助 一八九頁
印棉及支那棉使用を提唱 一八九頁
エナプト棉紡績操短 一八九頁
紡績會社合同 一八九頁
米棉紡績操短計畫 一八九頁
七十六工場は半ヶ年全休 一八九頁
綿業會社に加入 一八九頁
エナプト棉紡績合同計畫 一八九頁

花

アルマ紡績の罷業 一八九頁
總ロツクアウト 一八九頁
エナプト棉紡績協定操短廢止 一八九頁
細糸紡績及燃糸會社決算 一八九頁
賃銀引下問題 一八九頁
リヴァプール取引所限月延長 一八九頁
人造棉花に就て 一八九頁
英帝國棉花生産状態 一八九頁
綿糸・綿布 一八九頁
ランカシャー織物會社 一八九頁

マツカラ氏逝去

綿製品對支輸出前途 一八九頁
綿業好轉の兆 一八九頁
綿業會社合併希望 一八九頁
人絹糸交織品輸出増加 一八九頁
綿業生産額減少 一八九頁
綿業會社の目的 一八九頁
綿業更生の努力 一八九頁
綿布輸出組合 一八九頁
ロシヤより紡績注文獲得 一八九頁
綿糸同盟會解散 一八九頁
ランカシア綿業労働争議 一八九頁
綿製品市場回復研究 一八九頁
ヴィッカーズ自動織機 一八九頁

羊毛・絹物・人絹

毛織物業保護申請 一八九頁
コートールド純益及配當額 一八九頁
日本絹織物業質低下問題 一八九頁
絹物關稅實施成績 一八九頁
毛布職工罷業開始 一八九頁
人造羊毛の研究 一八九頁
人造羊毛會社設立 一八九頁

コム

破綻ゴム商の負債 一八九頁
ダンロップ社配當 一八九頁
ゴム煉瓦の使用 一八九頁
ダンロップ社収益減少 一八九頁

船舶

ベンチン号船坐洲 一八九頁
カシムル號衝突 一八九頁
船舶積荷過重問題 一八九頁
海運界勞資關係改善 一八九頁
粉砕炭の使用 一八九頁
オロンテス號進水 一八九頁
ヒューパー汽船配當率 一八九頁

其他

電信會社の合同 一八九頁
五大銀行配當額 一八九頁
公共事業會社の英米提携 一八九頁
英伊銀行の救済決定 一八九頁
炭坑界の不況も底入 一八九頁
小麥取引所開場 一八九頁
電機會社の外人株主排斥 一八九頁
ビルマ・コロネー 一八九頁
シヨン外人株主排斥 一八九頁
帝國化學工業會社増資 一八九頁
三大糖糖會社合同か 一八九頁

フランス

同社の人造空素製品提携 一八九頁
産業界大觀 一八九頁
佛獨ボタニシトラスト禁止 一八九頁
スクーナー船の遭難 一八九頁
輸入電力に課税 一八九頁
セイロン號沈没 一八九頁
佛亞銀行滿洲進出 一八九頁

ドイツ

産業界の復活 一八九頁
二九年經濟界豫測 一八九頁
貯金と借金 一八九頁
賠償國際銀行設置案 一八九頁
對米金現送 一八九頁
輸出増進策 一八九頁

融

ライヒス銀行利率變更 一八九頁
國立銀行利上と經濟界 一八九頁
國立銀行正貨流失問題 一八九頁
長期内債發行 一八九頁
國立銀行金準備減減 一八九頁
國際銀行團より借款 一八九頁

船舶

造船爭議終結 一八九頁
ミルウオーキー號進水 一八九頁
ギーセン號坐礁 一八九頁
オイローバ號燒失 一八九頁
大豆積載船坐洲 一八九頁
ハンブルグ港の繁榮 一八九頁

其他

紡績織物業社爭議 一八九頁
染料トラストの提携 一八九頁
佛獨ボタニシトラスト禁止 一八九頁
日本ベンベルグ會社設立 一八九頁
ルフトハンザ航空事業縮小 一八九頁
人造ゴム出現か 一八九頁
染料トラスト配當率 一八九頁
グランストツフ社提携 一八九頁

ロシヤ

縮業大勢と原棉消費 一八九頁
イギリス實業團訪問 一八九頁
アルゼンチンより穀物輸入 一八九頁
ウラルに油田發見 一八九頁

對外經濟政策

アメリカ電機會社と政府提携 一八九頁
ソフフラクト貿易會社創立 一八九頁
機械類大輸入計畫 一八九頁

オランダ

オム信託會社計畫 一八九頁
メロウケ號衝突 一八九頁
甜菜糖業補助 一八九頁
エンカ人絹會社の提携 一八九頁

其他歐洲諸國

イタリー産業界大觀 一八九頁
オーストリー對米債務支拂 一八九頁
イタリー汽船の沈没 一八九頁
スイスのパーセル社提携 一八九頁
ルーマニアの通貨安定 一八九頁
ギリシヤ對米債務整理案 一八九頁
ベルギー船衝突 一八九頁
英伊銀行の救済決定 一八九頁
チエッコ金本位復歸 一八九頁
オーストリー失業率増加 一八九頁
バルギー極東定期航路 一八九頁
スペイン金本位復歸決定 一八九頁

インド

勞働問題
シュエイト工場罷業 一八九頁
勞働界の不安 一八九頁
種族闘争 一八九頁
紡績罷業調査報告 一八九頁
紡績爭議 一八九頁
其他
外國織物不買決議 一八九頁
ホンベイ棉花火事 一八九頁
日本向船積棉花燒失 一八九頁
モンズン 一八九頁
ルビー公債賣出 一八九頁
ジュート洪水被害 一八九頁

オーストラリア

産業視察報告(ダッカム氏) 一八九頁
波止場入夫の騷擾 一八九頁
炭坑労働爭議 一八九頁
海運官營は失敗 一八九頁
アラフラ號遭難 一八九頁
小麥ブール賣値牽制 一八九頁

支那

救國基金で會社設立 一八九頁
對露領穀物輸出禁止 一八九頁

航空事業計畫

山東の貨物稅徵收 一八九頁
關稅自主と經濟復興 一八九頁
萬國商會會議所大會で支那復興問題を討議 一八九頁
經濟的發展の必要 一八九頁
大資本團組織案 一八九頁
軍費借款成立 一八九頁
政府の公債發行額 一八九頁
政府の債務整理方針 一八九頁

排日(上海、漢口を除く)

全國反日大會 一八九頁
廣東の日貨水上検査 一八九頁
各地排日運動終結未し 一八九頁
排日運動取締 一八九頁
ハルビンの排日 一八九頁

上海

華豐紡績罷業 一八九頁
罷工と群衆遊行禁止 一八九頁
外支金融聯合會組織 一八九頁
各商品市場の活躍 一八九頁
日本製糖工場再開 一八九頁
工部局電氣事業拂下 一八九頁
明華製糖休業 一八九頁
綿布競賣の組織と取引高 一八九頁
時局と經濟界 一八九頁

漢口

漢口行汽船出帆停止 一八九頁
排日運動緩和 一八九頁
通貨流通難 一八九頁
漢口航路再開 一八九頁
中央銀行支店開業 一八九頁
桐油附加稅撤廢 一八九頁

青島

綿布取引活潑 一八九頁
紡績爭議 一八九頁
勞働不安 一八九頁
麥粉課稅問題 一八九頁
青島機寸會社の罷業 一八九頁

其他

酒業銀行休業 一八九頁
白河改修計畫 一八九頁
汽船元速號沈没 一八九頁
勸業銀行紙幣不通 一八九頁
漢冶萍公司引機命令 一八九頁
大連海關綿糸布稅 一八九頁
蘭の輸出禁止請願 一八九頁
佛亞銀行滿洲進出 一八九頁

開採炭坑罷業

奉天で日本品見本展示會 一八九頁

日本

金融制度の缺陷 一八九頁
アマゾン河畔で日米競争 一八九頁
圓價暴落と金解禁 一八九頁
産業と勞働問題 一八九頁
英紙の財政状態激賞 一八九頁
アメリカの關稅引上 一八九頁
げご日米經濟關係 一八九頁
金解禁の試験的行爲 一八九頁

綿業

東阿に於ける日本綿布 一八九頁
綿業成功の秘訣 一八九頁
日本紡績生産費問題 一八九頁
日本織布費問題 一八九頁
綿業成功の原因 一八九頁
對日綿布輸出激減 一八九頁

船舶

明洋丸坐礁 一八九頁
大正汽船萬國丸坐礁 一八九頁
大武丸の故障 一八九頁
陽光丸積込棉花燒失 一八九頁
北野丸衝突事件判決 一八九頁

其他

東京市債金フラン支拂訴訟 一八九頁
滿鐵車輛工場建設材料注文 一八九頁
東京で萬國工業會議開催 一八九頁
日本ベンベルグ會社設立 一八九頁
東邦電力の社債發行 一八九頁
奉天で商品見本展示會 一八九頁

其他諸國

香港製糖工場作業開始 一八九頁
ウガンダ棉輸出状況 一八九頁
東阿經濟状態と日本綿布輸入 一八九頁
馬來ゴム會社合同計畫 一八九頁
比島沿岸航路法適用反對 一八九頁
セイロン及マレー 一八九頁
スエズ運河通航船數 一八九頁
東洋地方ゴム生産統計 一八九頁
石炭からゴム製造 一八九頁
造船界の形勢 一八九頁
ゴムの需給豫想 一八九頁
國際銀行團對獨貸付 一八九頁

市況

株式市況

ニユーヨーク

株式及証券市況 金物株の活況 会員権高値 フォード株動搖

ロンドン其他

ロンドン株式及証券市況 ロンドン電信株好人気

金融市況

ロンドン金融市況 同手形割引市況

公債

インド鐵道公債發行 ドイツ外債募集高

社債

アメリカ化学工業會社債 アメリカ電話會社債

金利

イタリー銀行利率上 ライヒス銀行利率變更

為替市況

インド帝銀利率變更 スペイン銀行利下説

銀塊市況

ロンドン銀塊市況 モンタギュー商會報

金物市況

ロンドン金物市況 ヨーロッパ製鐵界月報

棉花市況

ニユーヨーク市況 ナシヨナル取引所開場

印棉其他

ボンベイ市況 リヴァプール(米棉、埃棉)市況

綿絲布市況

マンチエスター綿糸布市況 アメリカ綿製品市況

生絲市況

ニユーヨーク生糸市況 同人絹及絹織物市況

羊毛市況

ブラッドフォードのトップ市況 同毛糸及毛織物市況

油脂市況

ロンドン亞麻仁油及大豆油市況 同亞麻仁、滿洲大豆、菜種市況

小麥市況

シカゴ小麥市況 リヴァプール市況

砂糖市況

ニユーヨーク市況 ロンドン市況

コム市況

ロンドン市況 シンガポール競賣成績

海運市況

ロンドン海運市況 ボルネオ船隻契約

統計

一般輸出入 十一月のアメリカ對歐

株式及債券

ニユーヨーク株式出來高日計 同月別

金銀塊

二八年イギリス起債額 ロンドン五大銀行配當額

物價指數

ドイツ(入超額) アメリカ對支

金銀塊

二八年金銀塊生產高 二八年金銀塊生產高

イギリス

金銀塊輸出入額 イングランド銀行金移動週報

其他

インド政府通貨週報 上海銀塊在荷高

アメリカ

鋼鐵及銑 鋼鐵生產高 精銅集計

イギリス

月別紡績 引取高 英帝國內棉花生產高

イギリス

諸港金物 在荷高 鋼鐵產額

其他

錫供給高 及引渡高 フランス銑鐵生產高

棉花

週統計(出廻、引取、輸出、在荷) ウィンター冬籠數

アメリカ

二八一九年度棉繰上高 月別集計

エチプト其他

エチプト棉週統計 世界綿業統計

新棉種植反別民間豫想 新棉種植反別民間豫想

イギリス

諸港金物 在荷高 鋼鐵產額

其他

錫供給高 及引渡高 フランス銑鐵生產高

棉花

週統計(出廻、引取、輸出、在荷) ウィンター冬籠數

アメリカ

二八一九年度棉繰上高 月別集計

エチプト其他

エチプト棉週統計 世界綿業統計

新棉種植反別民間豫想 新棉種植反別民間豫想

統計

綿糸布

Table with columns for month (十二月, 一月, 二月, 三月, 四月, 五月) and values for various cotton and textile categories.

小麥

Table with columns for month and values for wheat production and trade.

生絲

Table with columns for month and values for silk production and trade.

糖

Table with columns for month and values for sugar production and trade.

油脂

Table with columns for month and values for oil and fat production and trade.

羊毛

Table with columns for month and values for wool production and trade.

其他

Table with columns for month and values for various other commodities.

船舶

Table with columns for month and values for shipping statistics.

其他雜項

Table with columns for month and values for miscellaneous items.

公債及社債

Table with columns for month and values for government and corporate bonds.

為替・金銀塊

Table with columns for month and values for exchange rates and gold/silver bars.

金銀物

金

Table with columns for month and values for gold prices.

銀

Table with columns for month and values for silver prices.

金銀塊

Table with columns for month and values for gold and silver bars.

金

Table with columns for month and values for gold prices.

銀

Table with columns for month and values for silver prices.

金銀物

Table with columns for month and values for gold and silver items.

相場

株式相場

Table with columns for stock market prices for various companies.

金

Table with columns for gold market prices.

銀

Table with columns for silver market prices.

金銀塊

Table with columns for gold and silver bar market prices.

金

Table with columns for gold market prices.

銀

Table with columns for silver market prices.

金銀物

Table with columns for gold and silver items market prices.

金

Table with columns for gold market prices.

銀

Table with columns for silver market prices.

金銀物

Table with columns for gold and silver items market prices.

金

Table with columns for gold market prices.

銀

Table with columns for silver market prices.

金銀物

Table with columns for gold and silver items market prices.

金

Table with columns for gold market prices.

棉花

Table with columns for cotton market prices.

綿絲布

Table with columns for cotton fabric market prices.

生絲

Table with columns for silk market prices.

砂糖

Table with columns for sugar market prices.

小麥及穀類

Table with columns for wheat and grain market prices.

油脂及油種

Table with columns for oil and fat market prices.

羊毛

Table with columns for wool market prices.

船舶

Table with columns for shipping market prices.

其他

Table with columns for miscellaneous market prices.

公債及社債

Table with columns for government and corporate bonds market prices.

為替・金銀塊

Table with columns for exchange rates and gold/silver bars market prices.

金銀物

Table with columns for gold and silver items market prices.

國際經濟週報第十卷第廿七號附錄(昭和四年七月二十日發行)

發行所 大阪市東區北濱五丁目十二番地 新聞聯合社大阪支社 編輯發行兼印刷人 東川嘉